

7月25日(月) 18:00~ CP黄 GK紫

Aグループ予選 5試合目

日本 24(10-15, 14-13) 28 ドイツ

(戦評)

予選リーグ最終戦はドイツ。日本はLW吉岡, LB並木, CB行本, RB金城, RW中山, PV澤田, GK榎でスタート。先制点はドイツ。日本のオフENSシブなディフェンスの間を利用し, ポストシュートを決める。日本は1分12秒, No.6行本のミドルシュートで初得点を挙げ, 1-1とする。しかしこの後, ドイツにカットインで連取され, またオフENSでもシュートミスが続き, 6分40秒に1-5とされる。日本はNo.14中山, No.8並木, No.6行本のシュートで反撃するが, ドイツの攻撃を止めることができない。15分過ぎ, 5-9からドイツが立て続けにシュートを枠外に打ち, その隙を日本がつく。No.14中山, No.15金城の得点で18分に7-9と2点差まで詰め寄る。しかし後が続かず, 再びドイツのカットインやポストシュートで点差を離されてしまう。日本は持ち味であるアグレッシブなディフェンスを機能させたかったが, なかなか上手くいかない。ドイツに上手く攻め込まれ, ディフェンスの高さが活きず, ライン際でのシュートばかりになってしまう。オフENSにおいても攻め手に欠き, シュートが決まらない。前半は10-15と5点ビハインドで折り返す。

後半に入ると, 日本はオフENSでいい場面が増える。No.6行本がロングシュートを決めると, No.14中山, No.15金城がそれに続き, 後半6分に14-16と再び2点差とする。依然としてドイツの攻勢は続くが, No.5吉岡, No.8並木らが得点を挙げ, 食らいついていく。13分にはミスからの速攻を決められ, 18-23と5点差にされるが, ここで日本はタイムアウトを挟み, 立て直しを図る。ここからドイツの得点が止まり始める。日本はNo.2澤田らが奮起し, 26分過ぎ, No.5吉岡のシュートで24-26と再び2点差にする。しかし, ドイツにあっさりと3点差に戻され, 残り3分を切る。もう1本, というシュートも決まらず, 反撃の機会を失う。最終スコア24-28の4点差でグループリーグ最終戦を終える。

日本はこれで1勝1分3敗, グループリーグ5位で, 予選突破はならなかった。ここからはプレジデントカップとなり, 少しでも上に行くために戦っていくことになる。

なお, この試合の優秀選手として, No.15金城が選ばれた。

(個人得点)

7点 中山, 5点 並木, 4点 吉岡・金城, 3点 行本, 1点 澤田